HAPPY MAINTENANCE
SSSI仕
無騒音・無公害・迅速

セメント系カチオン性樹脂モルタル下地調整材

カチオンタイト® シリーズ

ヤブ原産業株式会社
YABUHARA Industry CO.,LTD.

CATIONTITE

カチオンタイトシリーズは、
セメント系カチオン性樹脂モルタルの
仲介接着用下地調整塗材です

カチオンタイトに代表されるセメント系パウダーとカチオン性ラテックスをセットした二材型のセメントポリマー複合体と、タイトワンを中心とした粉末のカチオン性ポリマーをプレミックスした一材型のセメントポリマー複合体により構成されています。

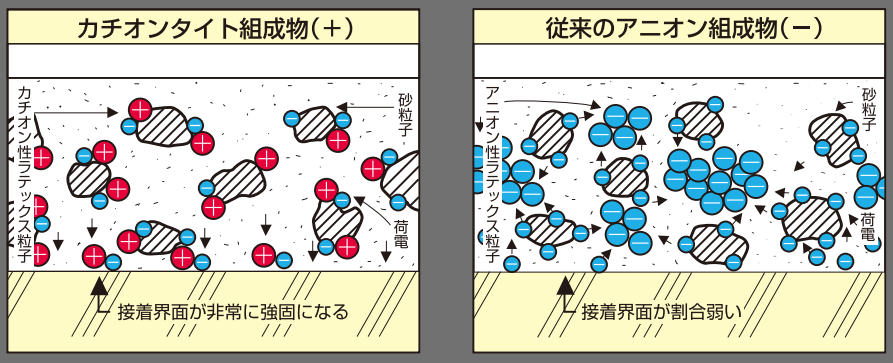
カチオンタイトは、使用目的に応じて最適に配合されたセット材料のみで調合するため、非常に安定した品質が得られ、建築から土木分野にわたり、改修･新築現場の広範囲な下地に対して高い接着力を示し、1976年に発売以来45年以上の販売実績を誇っています。また、曲げ強度･耐摩耗性･耐薬品性などにも優れており、中性化抑制にも効果を発揮します。

タイトワンは、永年にわたるカチオンタイトの技術を応用した一材型のカチオン性下地調整塗材で、水との混練だけで使用でき、作業性に優れ、安定した物性を有しています。

他にも、実績とデータにより証明された、様々なカチオンタイトシリーズの製品群を用途に応じてラインアップしております。

カチオン性ラテックスとアニオン性ラテックスの分散模型図

（セメント粒子は省略）



ラテックスをカチオン化させたカチオンタイトは陰電気を帯びた砂・セメント粒子と静電気的に引合うため、ラテックス粒子が均一に分散され、図のようにセメントポリマー複合体と呼ぶにふさわしい均一な構造を形成し驚異的な接着効果を発揮します。

CONTENTS

カチオンタイトとは …… 1
目　次 …… 2
アイコン説明表 …… 3
製品仕様一覧表 …… 4

製品

カチオンタイトF　二材型 …… 5
カチオンタイトFS　二材型 …… 6
カチオンタイトT　二材型 …… 7
カチオンタイトTS　二材型 …… 8
速硬カチオンコテ　二材型 …… 9
速硬カチオンローラー　二材型 …… 10
速硬カチオン厚塗り　二材型 …… 11
カチオンフィラー　二材型 …… 12
タイトワン コテ・ローラー　一材型 …… 13
YS厚付モルタル　一材型 …… 14
施工の注意事項 …… 15

施工例

爆　裂（壁面・天井面） …… 17
小さな爆裂／大きな爆裂
欠　損（壁面・天井面） …… 17
小さな欠損／大きな欠損
仲介接着（床面） …… 18
セメント系下地を各種床仕上材に／エポキシ系塗床を各種床仕上材に／陶・磁器タイルを各種床仕上材に
Pタイルを撤去した後の下地補修に
仲介接着（防水） …… 19
セメント系防水保護層を各種防水材に／防水改修工事の下地調整に
仲介接着（壁面） …… 19・20
陶・磁器タイルを陶・磁器タイルに／陶・磁器タイルを各種仕上塗材に／複層仕上塗材を防水形複層仕上塗材に／
複層仕上塗材を防水形単層仕上塗材／複層仕上塗材を各種上塗材に／コンクリートのひび割れ補修に

データ

カチオンタイトF・FS/速硬カチオンコテ/タイトワンコテ …… 21
カチオンタイトT・TS/速硬カチオンローラー/カチオンフィラー/タイトワンローラー …… 22
YS厚付モルタル/速硬カチオン厚塗り …… 22

アイコン一覧表

	用途・機能
コテ	コテ塗り用です。
ローラー	ローラー塗り用です。
吹付け	吹付け用です。
ハケ	ハケ塗り用です。
薄塗り用	薄塗りに適しています。 ※商品ごとに異なります。
厚塗り用	厚塗りに適しています。

	用途・機能
硬化液 主材 2材型	主材と硬化剤を 混練して使用します。
1材型	粉末樹脂入りで現場で 水を混入して使用します。
仮防水性	屋上防水の改修工事等に 適しています。
CO_2 CO_2 中性化抑制	コンクリートの中性化抑制に 効果があります。
早強・速硬型	硬化時間が早い製品です。
耐溶剤型	次工程に溶剤系材料を 施工するのに適しています。

製品仕様一覧表　　セメント系カチオン性樹脂モルタル下地調整塗材

製品名	塗布手段	荷　姿	適用部位	特　長
カチオンタイトF	コテ	6kgセット 20kgセット 64kgセット	壁 床 屋上	1~3mm 薄塗り用 / 硬化液主材 2材型 / 仮防水性 / 中性化抑制
カチオンタイトFS	コテ	20kgセット 64kgセット	壁 床 屋上	1~3mm 薄塗り用 / 硬化液主材 2材型 / 仮防水性 / 耐溶剤型
カチオンタイトT	ローラー ハケ	5kgセット 16kgセット 40kgセット	壁 床 屋上	1mm 薄塗り用 / 硬化液主材 2材型 / 仮防水性 / 中性化抑制
カチオンタイトTS	ローラー ハケ	16kgセット 40kgセット	壁 床 屋上	1mm 薄塗り用 / 硬化液主材 2材型 / 仮防水性 / 耐溶剤型
速硬カチオンコテ	コテ	18kgセット	壁 床 屋上	1~2mm 薄塗り用 / 硬化液主材 2材型 / 仮防水性 / 早強・速硬型 / 耐溶剤型
速硬カチオンローラー	ローラー ハケ	15kgセット	壁 床 屋上	1mm 薄塗り用 / 硬化液主材 2材型 / 仮防水性 / 早強・速硬型 / 耐溶剤型
速硬カチオン厚塗り	コテ	60kgセット	壁 床 屋上	10mm 厚塗り用 / 硬化液主材 2材型 / 仮防水性 / 早強・速硬型 / 耐溶剤型
カチオンフィラー	コテ ローラー 吹付け ハケ	30kgセット	壁	1~2mm 薄塗り用 / 硬化液主材 2材型
タイトワンコテ	コテ	15kg 袋	壁 床 屋上	1~3mm 薄塗り用 / 1材型 / 仮防水性
タイトワンローラー	ローラー ハケ	15kg 袋	壁 床 屋上	1mm 薄塗り用 / 1材型 / 仮防水性
YS厚付モルタル	コテ	15kg 袋	壁 床 屋上	20mm 厚塗り用 / 1材型

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

セメント系カチオン性SBR樹脂モルタル

カチオンタイトF

コテ　1~3mm↓ 薄塗り用　硬化液 主材 2材型　仮防水性　CO_2 中性化抑制

カチオンタイトFは、接着性・仮防水性に優れたコテ塗り用に配合されたセメント系カチオン性SBR樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特　長

- 建築から土木にいたるまで広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示します。
- 曲げ強度、耐摩耗性、仮防水性に優れています。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します。※
- 爆裂･欠損補修、コンクリートの中性化抑制に優れています。
- セット化されているため調合ミスが無く特性が安定しており、作業性も抜群です。

※ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。

6kg セット　20kg セット　64kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材（アクリル、アクリルウレタン）、リシン（無機系は下地強化が必要）
	躯体等	PCコンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板
	爆裂・欠損	コンクリート
	その他	ガラスブロック
床	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材（薄膜タイプ）、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
	その他	鉄部
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 次工程に溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイト FS、または速硬カチオンコテをご使用ください。
2. 塗り厚は 1mm 以上としてください。但し、コテによるもみ過ぎに注意してください。
3. 混練した材料は、1 時間（冬期は 2 時間）以内に使用してください。
4. 厚塗りする場合は、5mm 以内としてください。塗り重ねる場合は 5 時間以上経過した後としてください。

■ 次工程への間隔時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。
2. 仕上げにタイルやモルタルなどの重量物を施工する場合は約 36 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量(kg)		練上り量(ℓ)	形　態
6kg セット	主　材	4.8	3.5	PP缶
	硬化液	1.2		
20kg セット	主　材	16.0	11.7	PP缶
	硬化液	4.0		
64kg セット	主　材	25.5×2	37.6	袋
	硬化液	13.0		缶

■ 施工概算

標準塗り厚(mm)	1.0~3.0		
塗り厚(mm)	1.0	2.0	3.0
kg/㎡使用量	1.7	3.4	5.1
6kgセット 施工面積(㎡)	3.5	1.7	1.1
20kgセット 施工面積(㎡)	11.7	5.9	3.9
64kgセット 施工面積(㎡)	37.6	18.8	12.5

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル

カチオンタイトFS

コテ　1~3mm 薄塗り用　硬化液 主材 2材型　仮防水性　耐溶剤型

カチオンタイトFSは、耐溶剤性・仮防水性に優れたコテ塗り用のセメント系カチオン性アクリル樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特　長

- 建築から土木にいたるまで広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示します。
- 耐溶剤性、曲げ強度、耐摩耗性、仮防水性に優れています。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します。※
- セット化されているため調合ミスが無く特性が安定しており、作業性も抜群です。

※ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。

20kg セット　64kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材（アクリル、アクリルウレタン）、リシン（無機系は下地強化が必要）
	躯体等	PCコンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板
	爆裂・欠損	コンクリート
	その他	ガラスブロック
床	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材（薄膜タイプ）、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
	その他	鉄部
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 塗り厚は 1mm 以上としてください。但し、コテによるもみ過ぎに注意してください。
2. 混練した材料は、1 時間（冬期は 2 時間）以内に使用してください。
3. 厚塗りする場合は、5mm 以内としてください。塗り重ねる場合は 5 時間以上経過した後としてください。
4. 吸込みが少ない下地に施工し、次工程で溶剤系材料を使用する場合、溶剤が揮発して当製品の強度が戻ったことを確認してから次工程に移ってください。

■ 次工程への間隔時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。
2. 仕上げにタイルやモルタルなどの重量物を施工する場合は約 36 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量(kg)		練上り量(ℓ)	形　態
20kg セット	主　材	16.0	11.7	PP缶
	硬化液	4.0		
64kg セット	主　材	25.5×2	37.6	袋
	硬化液	13.0		缶

■ 施工概算

標準塗り厚(㎜)	1.0~3.0		
塗り厚(㎜)	1.0	2.0	3.0
kg/㎡使用量	1.7	3.4	5.1
20kgセット 施工面積(㎡)	11.7	5.9	3.9
64kgセット 施工面積(㎡)	37.6	18.8	12.5

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

セメント系カチオン性SBR樹脂モルタル

カチオンタイト T

ローラー　ハケ　1mm 薄塗り用　硬化液 主材 2材型　仮防水性　CO_2 中性化抑制

カチオンタイトTは、接着性・仮防水性に優れたローラー塗り用（ウーローラー中毛・マスチックローラー等）に配合されたセメント系カチオン性SBR樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特　長

- 建築から土木にいたるまで広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示します。
- 耐摩耗性、仮防水性に優れています。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します。※
- コンクリートの中性化抑制に優れています。
- セット化されているため調合ミスが無く特性が安定しており、作業性も抜群です。

※ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。

5kg セット　16kg セット　40kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材（アクリル、アクリルウレタン）、リシン（無機系は下地強化が必要）
	躯体等	PC コンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板
床	貼り仕上材	大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材（薄膜タイプ）、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
	その他	鉄部
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地 ▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 次工程に溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイト TS、または速硬カチオンローラーをご使用ください。
2. 陶・磁器タイル、モルタル等の重量物にて仕上げる場合には、カチオンタイト F・FS でコテ塗してください。
3. ローラーで均一に塗り付けます。塗り付けは下地が透けない程度に 2 回塗りします。
4. 塗り重ねは表面が乾燥してから行ってください。
5. 混練した材料は、1 時間（冬期は 2 時間）以内使用してください。
6. 塗り厚は 1mm としてください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量（kg）		練上り量（ℓ）	形　態
5kg セット	主　材	3.1	3.1	PP缶
	硬化液	1.9		
16kg セット	主　材	10.0	10.0	PP缶
	硬化液	6.0		
40kg セット	主　材	25.0	25.0	袋
	硬化液	15.0		缶

■ 施工概算

標準塗り厚（㎜）	1.0
kg/㎡使用量	1.6
5kgセット 施工面積（㎡）	3.1
16kgセット 施工面積（㎡）	10.0
40kgセット 施工面積（㎡）	25.0

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル

カチオンタイトTS

ローラー　ハケ　1mm 薄塗り用　硬化液 主材 2材型　仮防水性　耐溶剤型

カチオンタイトTSは、耐溶剤性・仮防水性に優れたローラー塗り用（ウーローラー中毛・マスチックローラー等）のセメント系カチオン性アクリル樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特　長

- 建築から土木にいたるまで広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示します。
- 耐溶剤性、耐摩耗性、仮防水性に優れています。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します。※
- セット化されているため調合ミスが無く特性が安定しており、作業性も抜群です。

※ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。

16kg セット　40kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材（アクリル、アクリルウレタン）、リシン（無機系は下地強化が必要）
	躯体等	PC コンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板
床	貼り仕上材	大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材（薄膜タイプ）、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
	その他	鉄部
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地 ▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 陶・磁器タイル、モルタル等の重量物にて仕上げる場合には、カチオンタイトＦ・FS でコテ塗してください。
2. ローラーで均一に塗り付けます。塗り付けは下地が透けない程度に 2 回塗りします。
3. 塗り重ねは表面が乾燥してから行ってください。
4. 混練した材料は、1 時間（冬期は 2 時間）以内使用してください。
5. 塗り厚は 1mm としてください。
6. 吸込みが少ない下地に施工し、次工程で溶剤系材料を使用する場合、溶剤が揮発して当製品の強度が戻ったことを確認してから次工程に移ってください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量(kg)		練上り量(ℓ)	形　態
16kg セット	主　材	10.0	10.0	PP缶
	硬化液	6.0		
40kg セット	主　材	25.0	25.0	袋
	硬化液	15.0		缶

■ 施工概算

標準塗り厚(㎜)	1.0
kg/㎡使用量	1.6
16kgセット 施工面積(㎡)	10.0
40kgセット 施工面積(㎡)	25.0

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

速硬型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル

速硬カチオンコテ

コテ　1~2mm 薄塗り用　硬化液 主材 2材型　仮防水性　早強・速硬型　耐溶剤型

速硬カチオンコテは、耐溶剤性、仮防水性に優れた速硬型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特　長

- 建築から土木にいたるまで広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示します。
- 塗布後3～4時間(23℃)で次の工程に移れます。(早期に強度、耐摩耗性が発現)
- 耐溶剤性、曲げ強度、耐摩耗性、仮防水性に優れています。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します。※
- セット化されているため調合ミスが無く、適度な流動性で床への作業性も抜群です。

※ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。

18kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材(アクリル、アクリルウレタン)、リシン(無機系は下地強化が必要)
	躯体等	PC コンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板
	爆裂・欠損	コンクリート
	その他	ガラスブロック
床	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材(薄膜タイプ)、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
	その他	鉄部
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 一般用と冬用があります。**一般用**は 20～35℃(4月～11 月)、**冬用**は 5～20℃(11 月～4月)でご使用ください。
2. 塗り厚は 1～2mm としてください。塗り重ねる場合は 3 時間以上経過した後としてください。
3. 混練した材料は、20 分以内に使用してください。
4. 時間の経過でしまった材料は、使用しないでください。
5. 吸込みが少ない下地に施工し、次工程で溶剤系材料を使用する場合、溶剤が揮発して当製品の強度が戻ったことを確認してから次工程に移ってください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 3～4 時間、気温 10℃で約 7～8 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量(kg)		練上り量(ℓ)	形　態
18kg セット	主　材	13.5	9.0	PP缶
	硬化液	4.5		

■ 施工概算

標準塗り厚(㎜)	1.0～2.0	
塗り厚(㎜)	1.0	2.0
kg/㎡使用量	2.0	4.0
施工面積(㎡)	9.0	4.5

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

速硬型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル

速硬カチオンローラー

ローラー　ハケ　1mm↓ 薄塗り用　硬化液 主材 2材型　仮防水性　早強・速硬型　耐溶剤型

速硬カチオンローラーは、耐溶剤性、仮防水性に優れた速硬型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特　長

- 建築から土木にいたるまで広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示します。
- 塗布後4～5時間(23℃)で次の工程に移れます。(早期に強度、耐摩耗性が発現)
- 耐溶剤性、曲げ強度、耐摩耗性、仮防水性に優れています。※
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します。
- セット化されているため調合ミスが無く、適度なチクソ性で壁への作業性も抜群です。

※ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。

15kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材(アクリル、アクリルウレタン)、リシン(無機系は下地強化が必要)
	躯体等	PC コンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板
床	貼り仕上材	大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材(薄膜タイプ)、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
	その他	鉄部
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 一般用と冬用があります。**一般用**は20～35℃(4月～11月)、**冬用**は5～20℃(11月～4月)でご使用ください。
2. 塗り厚は1mmとし、下地が透けない程度に2回塗りします。塗り重ねる場合は4時間以上経過した後としてください。
3. 陶・磁器タイル、モルタル等の重量物にて仕上げる場合には、速硬カチオンコテでコテ塗してください。
4. 混練した材料は、20分以内に使用してください。
5. 時間の経過でしまった材料は、使用しないでください。
6. 吸込みが少ない下地に施工し、次工程で溶剤系材料を使用する場合、溶剤が揮発して当製品の強度が戻ったことを確認してから次工程に移ってください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温23℃で約4～5時間、気温10℃で約10時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量(kg)		練上り量(ℓ)	形　態
15kg セット	主　材	9.5	8.8	PP缶
	硬化液	5.5		

■ 施工概算

標準塗り厚(㎜)	1.0
kg/㎡使用量	1.7
施工面積(㎡)	8.8

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

速硬型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル(厚付用)

速硬カチオン厚塗り

コテ　10mm 厚塗り用　硬化液 主材 2材型　仮防水性　早強・速硬型　耐溶剤型

速硬カチオン厚塗りは、耐溶剤性、仮防水性に優れた厚塗り用速硬型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタルの下地調整塗材です。

特　長

- 塗布後3～6時間(20℃)で次の工程に移れます。(10mm塗布した場合は6時間以上の養生が必要になります。)
- 1回で10mmまでの厚塗りができます。
- 防水仕上げや貼物仕上げをする時の下地調整、および壁面・床面の断面修復、短時間で解放しなければならない床面の改修等に適しています。
- 耐溶剤性、曲げ強度、耐摩耗性、仮防水性に優れています。

60kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	躯体等	PC コンクリート、コンクリート、モルタル
	爆裂・欠損	コンクリート
床	貼り仕上材	陶・磁器タイル、大理石、テラゾー
	塗り仕上材	エポキシ樹脂系塗床材、ウレタン樹脂系塗床材(薄膜タイプ)、セメントコテ磨床
	躯体等	コンクリート、モルタル
屋上	防水保護層	保護モルタル、シンダーコンクリート

適さない下地▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 一般用と冬用があります。**一般用**は 20～35℃(4月～11 月)、**冬用**は 5～20℃(11 月～4月)でご使用ください。
2. 厚塗りする場合は 10mm を限度としてください。塗り重ねる場合は 3 時間以上経過した後としてください。
3. 混練した材料は、60 分以内に使用してください。
4. 時間の経過でしまった材料は、使用しないでください。
5. 吸込みが少ない下地に施工し、次工程で溶剤系材料を使用する場合、溶剤が揮発して当製品の強度が戻ったことを確認してから次工程に移ってください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で 6 時間、気温 10℃で 12 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量(kg)	練上り量(ℓ)	形　態
60kg セット	主　材　25.0×2	28.5	袋
	硬化液　10.0		缶

■ 施工概算

標準塗り厚(mm)	3.0～10.0		
塗り厚(mm)	3.0	6.0	10.0
kg/㎡使用量	6.3	12.6	21.0
施工面積(㎡)	9.5	4.7	2.8

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル

カチオンフィラー

コテ　ローラー　吹付け　ハケ　1~2mm 薄塗り用　硬化液 主材 2材型

カチオンフィラーはセメント及び無機質骨材を配合した主材パウダーと、カチオン性樹脂の硬化液でセットされたワンランク上の接着性に優れたセメント系フィラーです。

特　長

- 広範囲な種類の下地に対して高い接着力を示し、下地と一体化します。
- 作業性に優れ、ひび割れがなく、肉痩せの少ない塗膜が形成されます。
- 施工手段は、吹付け、ローラー塗り、ハケ塗り、コテしごき塗りで行います。

30kg セット

■ 用　途

部　位	分　類	適　用　下　地
壁	塗り仕上材	吹付タイルの上塗材（アクリル、アクリルウレタン）、リシン（無機系は下地強化が必要）
	躯体等	PC コンクリート、コンクリート、モルタル、ALC
	ボード類	スレート板、押出し成型セメント板、合板

適さない下地 ▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. 次工程に溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイト FS・TS をご使用ください。
2. 陶・磁器タイル、モルタル等の重量物にて仕上げる場合には、カチオンタイト F・FS でコテ塗してください。
3. コテ塗りで行う場合は、塗り厚は 1 ～ 2mm としてください。但し、コテによるもみ過ぎに注意してください。
4. ローラー塗りで行う場合は、塗り厚は 1mm としてください。塗り付けは下地が透けない程度に 2 回塗りします。
5. 吹き付けで行う場合は、リシンガン器を使用し、エアレスはセメント系材料を吹付け可能な機種を使用してください。
6. 混練した材料は、1 時間（冬期は 2 時間）以内に使用してください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

	内容量（kg）		練上り量（ℓ）	形　態
30kg セット	主　材	20.0	17.6	袋
	硬化液	10.0		缶

■ 施工概算

標準塗り厚（㎜）	1.0
kg/㎡使用量	1.7
施工面積（㎡）	17.6

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

一材型セメント系カチオン性アクリル樹脂モルタル

タイトワンコテ・ローラー

コテ　ローラー　ハケ　1~3㎜ 薄塗り用　1材型　仮防水性

タイトワンコテ・ローラーはカチオン性アクリル粉末樹脂を使用し、カチオンタイトの特殊技術を応用したコテ塗り・ローラー塗り専用の一材型下地調整塗材です。コテ・ローラー塗専用の配合にしてあるため抜群の作業性を実現し、接着性・仮防水性に優れています。

特　長

- 水との混練だけで簡単に使用でき、作業性に優れています。
- 各種下地に対して高い接着力を示します。
- ひび割れがなく、肉痩せの少ない層が形成されます。
- 一材型製品のため、廃棄物を軽減した環境にやさしい商品です。
- ち密な構造と特殊樹脂の効果で短期的な仮防水機能を発揮します※

※ひび割れがある場合はあらかじめ、漏水防止目的でシーリング処理を行ってください。

15kg 袋　15kg 袋

■ 適用下地

壁　床　屋上

■ 用　途

下　地　の　種　類
コンクリート、スレート、ガラスブロック、大理石、押出し成型セメント板、鉄部（床のみ）
複層仕上塗材（ウレタントップ・アクリルトップ）、エポキシ樹脂塗床仕上げ、磁器タイル（コテのみ）

☆合板には「カチオンタイト」をご使用ください。

適さない下地▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

注意事項

1. タイトワンコテの場合、塗り厚は 1 ㎜以上としてください。但し、コテによるもみ過ぎは注意してください。厚塗りする場合は、5 ㎜以内としてください。塗り重ねる場合は 5 時間以上経過した後としてください。
2. タイトワンローラーの場合、塗り厚は 1 ㎜としてください。ローラーで均一に塗付けて、下地が透けない程度に 2 回塗します。
3. タイトワンコテ 1 袋（15 kg）に対して清水 2.8 ～ 3.0L を混入しハンドミキサー等で均一に練りあげます。使用目的に合わせ 0.5L 程度の清水で施工に適した粘度に調整します。この際、標準混練水量以上の水は入れないでください。
4. タイトワンローラー 1 袋（15 kg）に対して清水 4.5 ～ 5.2L を混入しハンドミキサー等で均一に練りあげます。使用目的に合わせ 0.5L 程度の清水で施工に適した粘度に調整します。この際、標準混練水量以上の水は入れないでください。
5. 混練した材料は、30 分（冬期は 60 分）以内使用してください。
6. 合板に施工する場合はカチオンタイトをご使用ください。
7. 次工程で、溶剤系の材料施工は避けてください。次工程に溶剤系材料を塗付する場合は、カチオンタイト FS 速硬カチオンコテ、速硬カチオンローラー、カチオンタイト TS をご使用ください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12 時間以上を目安としてください。
2. 仕上げにタイルやモルタルなどの重量物を施工する場合は約 36 時間以上を目安としてください。（タイトワンコテ）

■ 容量・形態

	内容量（kg）	清水（ℓ）	練上り重量（kg）	練上り量（ℓ）	形 態
コテ	15	2.8～3.5	17.8～18.5	10.5～10.8	袋
ローラー		4.5～5.7	19.5～20.7	12.1～12.9	

■ 施工概算

製品名	タイトワンコテ			タイトワンローラー
標準塗り厚（㎜）	1.0～3.0			1.0
標準混練水量（ℓ）	2.8～3.5			4.5～5.7
塗り厚（㎜）	1.0	2.0	3.0	1.0
kg/㎡使用量 ※	1.7	3.4	5.1	1.6
施工面積（㎡）	10.5	5.2	3.5	12.1 ～ 12.9

※練り上がり重量換算

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆

一材型セメント系カチオン性樹脂モルタル(厚付用)

YS 厚付モルタル

コテ　20mm 厚塗り用　1材型

YS厚付モルタルは、建築・土木のコンクリート構造物の断面修復・不陸調整を可能にした一材型厚付け用高性能ポリマーセメントモルタルです。

特　長

- コンクリート、モルタルの欠落、欠損部・爆裂部の補修に適しています。
- 3～60mm程度の欠損部・爆裂部の充填補修、出・入隅部の補修に適しています。
- カチオン系粉末樹脂を配合した高性能軽量ポリマーセメントモルタルですので、接着性・耐久性に優れています。
- 簡単に水練りだけで使用できます。
- 防水保護モルタルの勾配修正等に適しています。

15kg 袋

■ 適用下地

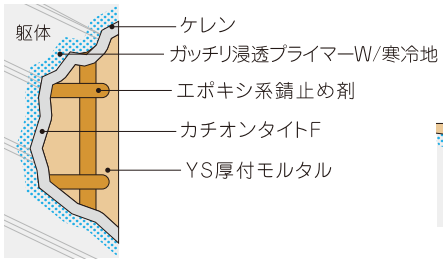
壁　床　屋上

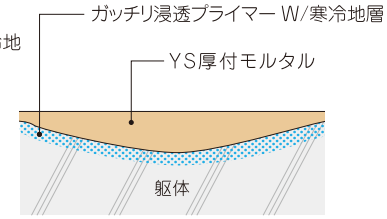
コンクリート、モルタル、PCコンクリート、ALC板等
※本製品は軽量骨材を使用していますので、重量物が往来する場所や次工程で溶剤系製品を施工する場合は速硬カチオン厚塗りをご使用下さい

適さない下地▶ FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA、塩ビ系製品、軟質面等

■ 用　途

1. 下地の不陸調整
2. 欠損部・爆裂部の補修・充填





注意事項

1. YS 厚付モルタル 1 袋(15kg)に対して清水 2.8～3.0ℓを混入しハンドミキサー等で均一に練りあげます。使用目的に合わせ 0.5ℓ程度の清水で施工に適した粘度に調整します。この際、標準混練水量以上の水は入れないでください。
2. 金ゴテで一度しごき塗りをしてから追っかけで所定の厚みに塗付けてください。
3. 一度で塗れる厚みは 3～20mm です。20mm を超える場合は 2 回に分けて塗布してください。
4. 塗り重ねは表面が乾燥してから行ってください。
5. 欠損部に充填する場合、内部に空隙ができないように施工してください。
6. 大きな欠損部・爆裂部、または上げ裏部の施工の場合はステンレスアンカーピン、ステンレス線を併用してください。
7. 混練した材料は、30 分(冬期は 60 分)以内使用してください。
8. 次工程で、溶剤系の材料施工は避けてください。
9. 次工程で、重量物を施工する場合は速硬カチオン厚塗りをご使用ください。

■ 次工程への標準養生時間

1. コンクリート下地の場合、気温 23℃で約 12～36 時間以上を目安としてください。

■ 容量・形態

内容量(kg)	清水(ℓ)	練上り重量(kg)	練上り量(ℓ)	形　態
15	2.8～3.5	17.8～18.5	9.9～10.2	袋

■ 施工概算

標準塗り厚(mm)	3.0～60.0		
標準混練水量(ℓ)	3.0～3.5		
塗り厚(mm)	3.0	20.0	60.0
kg/㎡使用量※	5.4	36.0	108.0
施工面積(㎡)	3.3	0.5	0.17

※練り上がり重量換算

注 意 事 項

■施工上の注意

- 下地表面のレイタンス・ほこり・油脂等は、ケレン及び水洗いにて除去してください。
- 吸水のある下地または脆弱したセメント系下地の場合(コンクリート、モルタル、ALC 等)に対しては、水打ちを行うか、または「ガッチリ浸透プライマー W/ 寒冷地」を塗布した後に施工してください。
- カチオンタイトの上にセメントモルタルを施工する場合は、「ガッチリ浸透プライマー W/ 寒冷地」を塗布するかポリマーセメントモルタルとしてください。
- 夏場で直射日光の当たる場所や、風通しの強い所での施工は必要に応じてシート養生等の措置を講じてください。また、気温が 3℃以下や、降雨、降雪が予想される場合は施工を見合わせてください。
- カチオンタイトの上に FRP を施工する場合は、ビニルエステル系プライマーを使用すると FRP の硬化不良の原因となりますのでビニルエステル系は使用しないでください。
- カチオンタイトの上に MMA(メタクリル酸メチル)塗床材は使用しないで下さい。
- 常時水に浸かる場所への施工は避けて下さい。
- カチオンタイトの上に有機系弾性タイル接着剤を施工する際は、速硬カチオンコテもしくは速硬カチオン厚塗りを使用して下さい。その他のカチオンタイトに対しては不具合を生じさせる可能性があります。
- FRP、アスファルト、ポリエステル、アルミニウム、ステンレス、亜鉛メッキ、油面、フッ素樹脂・シリコン樹脂系仕上剤、撥水剤・ワックス塗布面、MMA(メタクリル酸メチル)、塩ビ系製品、軟質面等は十分な接着力が得られませんので使用は避けてください。
- タイル下地に施工する場合は、既存タイルの躯体への付着強さが十分にあるか、調査してから施工してください。
- 下地の部材強度が弱いものの上には、重量物の仕上げは避けてください。
- ワックス類が塗ってある場合は、ワックスリムーバー等で落してから施工してください。
  (セメントコテ磨床、大理石、テラゾー等)
- 錆止め処理のある鉄部にカチオンタイトを塗る場合、油性錆止めはケレンし、エポキシ系錆止めを上塗まで塗ってから施工してください。

■二材型の施工について

- 本品は既調合品です。他の材料(セメント、砂等)の混入は絶対避け、セットされた硬化液のみで混練してください。(水の混入は品質の低下をまねきますので、絶対に避けてください)
- 硬化液の 80%に主材を加えてハンドミキサー等で均一に混練します。更に若干の硬化液を加え、作業に適した粘度に調整してください。

■一材型の施工について

- 本品は既調合品です。他の材料(セメント、砂等)の混入は絶対避け、必ず清水で混練してください。
- 標準混練水量以上の水は絶対に入れないでください。

■取扱い上の注意

- 降雨等の水濡れに注意し、雨露のかからない、湿気の少ない場所で保管してください。
- 保管温度は、0℃以上 40℃以下としてください。特に夏場の直射日光が当る場所での保管は避けてください。
- 落下、破損がないように荷崩れ防止等に配慮してください。
- 飛散した粉末は、掃除機などで吸い取ってください。
- 漏出した硬化液は、布などで吸い取るか、セメント、オガ屑、土砂などを混ぜ、モルタル状として凝固回収してください。
- 側溝、河川、湖沼等へは絶対に廃棄しないで、産業廃棄物として適切な処理をしてください。

■安全上の注意

- 取扱いは換気の良い場所で行い、吸い込んだり、目・皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護具(保護メガネ・保護手袋など)を着用してください。
- 目に入った場合は、清浄な水で数分間洗浄した後、直ちに医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合、肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いをしてください。
- 吸入して気分が悪くなった場合は、速やかに新鮮な空気の場所に移動し、水または温水でうがいをして安静にしてください。状況に応じて医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み、吐き出した後、直ちに医師の診察を受けてください。

※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。　※商品の仕様等は、予告なく変更することがありますので御了承ください。

■仕上りについて

コテ塗りはコテ波が出やすいです。ローラー塗りはローラー目が残ります。

コテ施工
(カチオンタイトF)

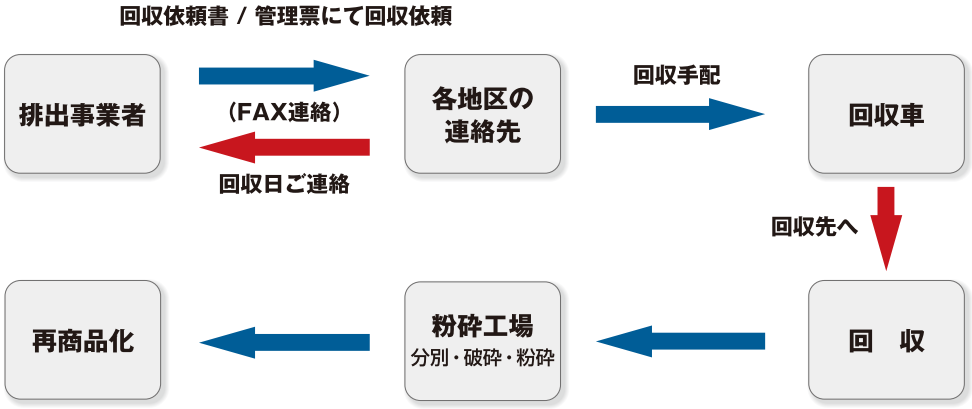
ローラー施工
(カチオンタイトT)

環境保全とリサイクル

弊社は環境保全への取り組みを通し、限りある資源を大切にしていきます。

カチオンタイトのプラスチック製ペール缶は環境にやさしいリサイクル材を使用しております。

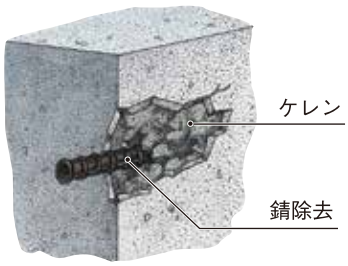
弊社の使用済みプラスチック製ペールは資源として再利用をするため、全国各地区（沖縄県を除く）で広域認定制度に基づいた回収・処理を行っております。

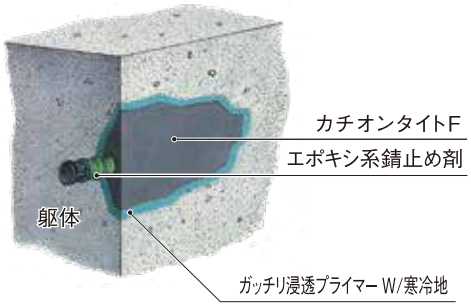


※1回の回収量は50～100缶単位でお願いします。　※くわしくは弊社までお問い合わせください。

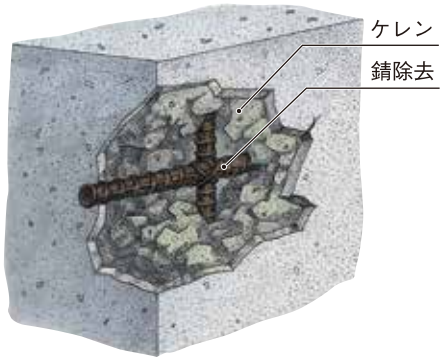
爆　裂（壁面・天井面）

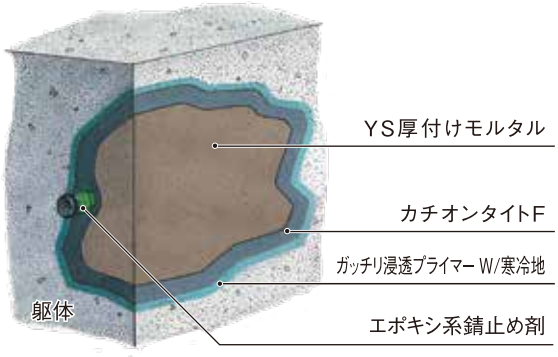
◆小さな爆裂





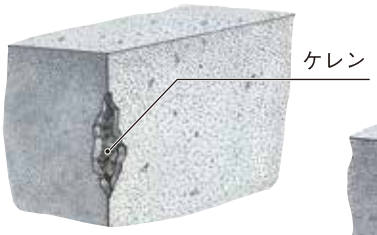
◆大きな爆裂

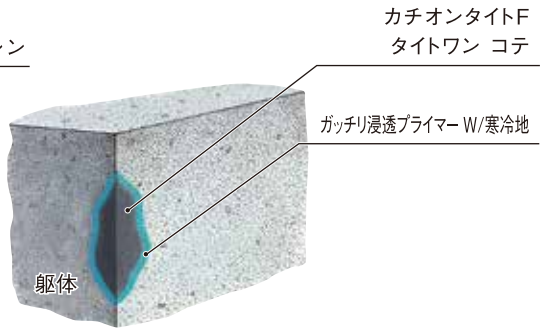




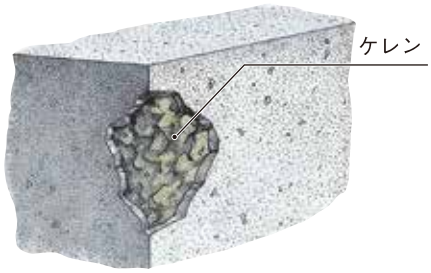
欠　損（壁面・天井面）

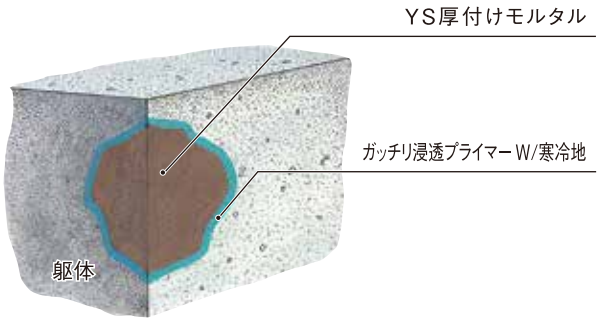
◆小さな欠損





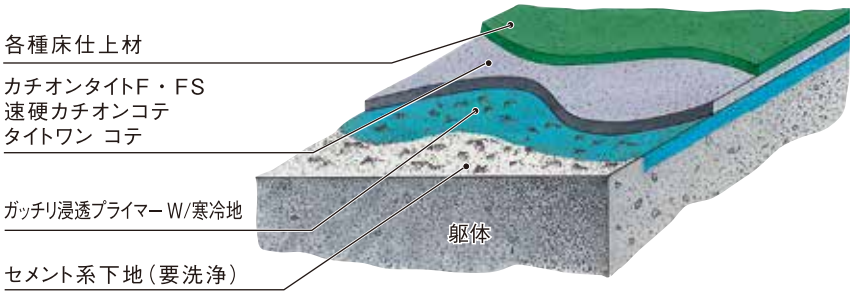
◆大きな欠損





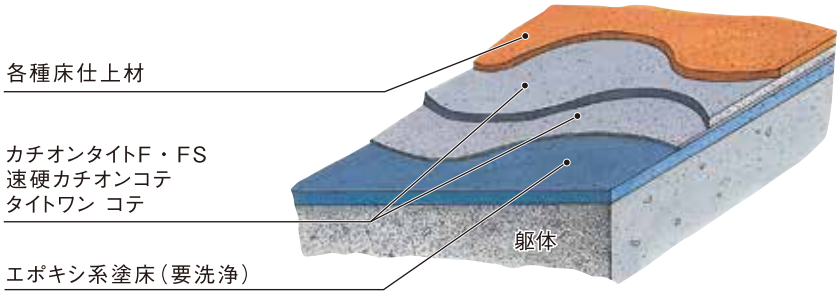
仲介接着（床面）

◆セメント系下地を各種床仕上材に。



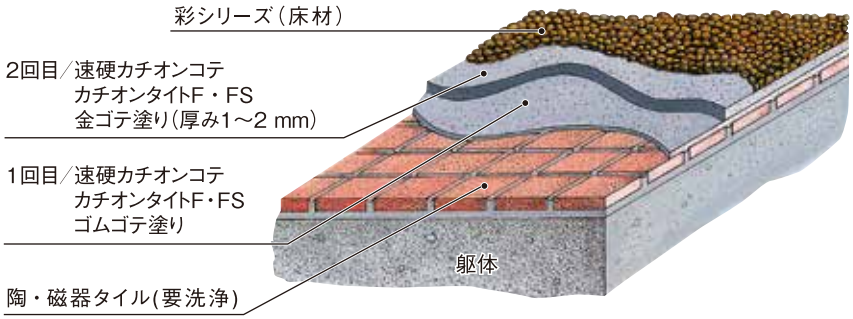
※溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイトFS、または速硬カチオンコテを使用してください。

◆エポキシ系塗床を各種床仕上材に。



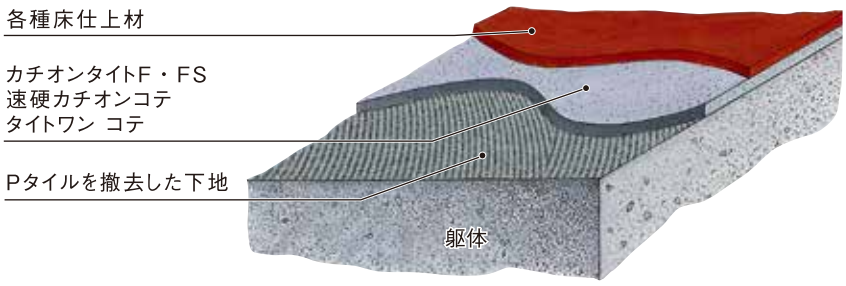
※溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイトFS、または速硬カチオンコテを使用してください。

◆陶・磁器タイルを各種床仕上材に。



※溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイトFS、または速硬カチオンコテを使用してください。

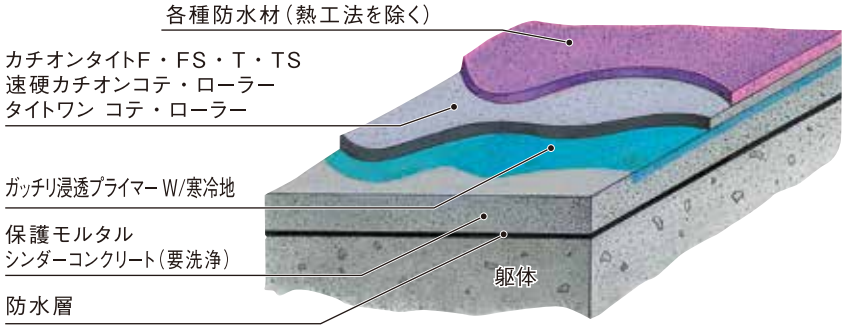
◆P タイルを撤去した後の下地補修に。



※溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイトFS、または速硬カチオンコテを使用してください。

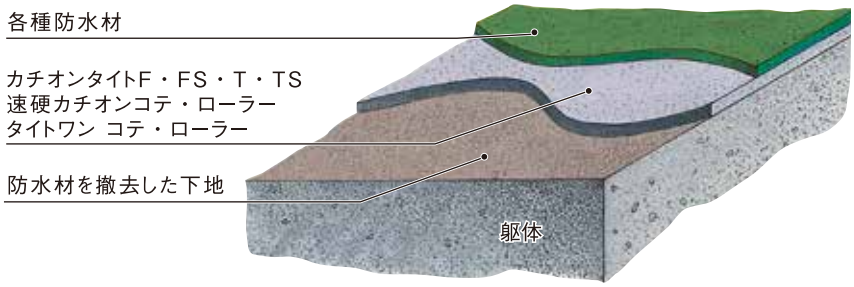
仲介接着（防水）

◆セメント系防水保護層を各種防水材に。



※溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイトFS・TS、または速硬カチオンコテ・ローラーを使用してください。

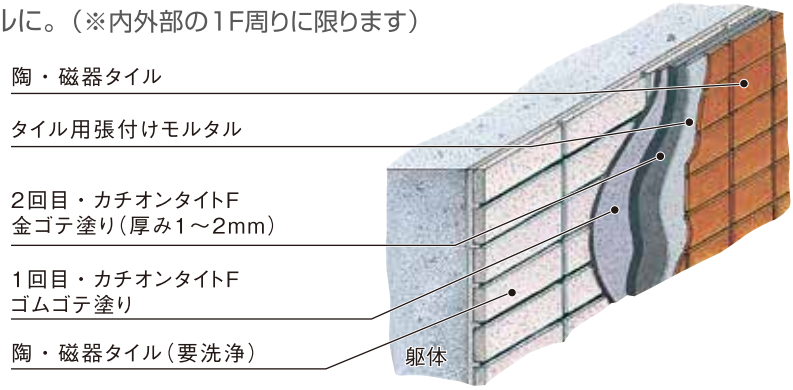
◆防水改修工事の下地調整に。



※溶剤系材料を塗布する場合は、カチオンタイトFS・TS、または速硬カチオンコテ・ローラーを使用してください。

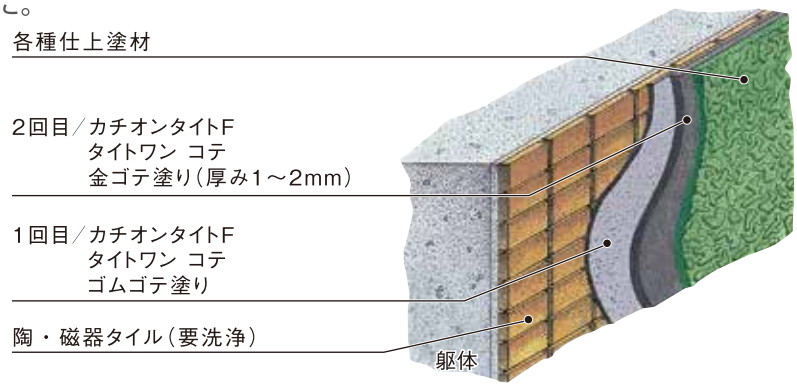
仲介接着（壁面）

◆陶・磁器タイルを陶・磁器タイルに。（※内外部の1F周りに限ります）



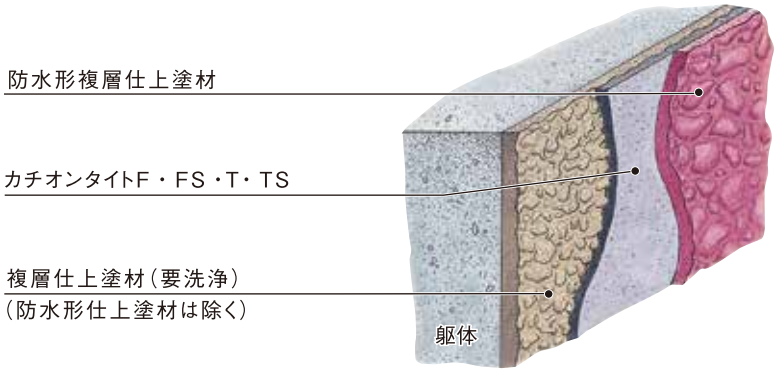
※既存陶・磁器タイルの躯体への付着強さが十分にあるか、調査してから施工してください。
※有機系接着剤を使用する場合は、速硬カチオンコテを使用してください。

◆陶・磁器タイルを各種仕上塗材に。



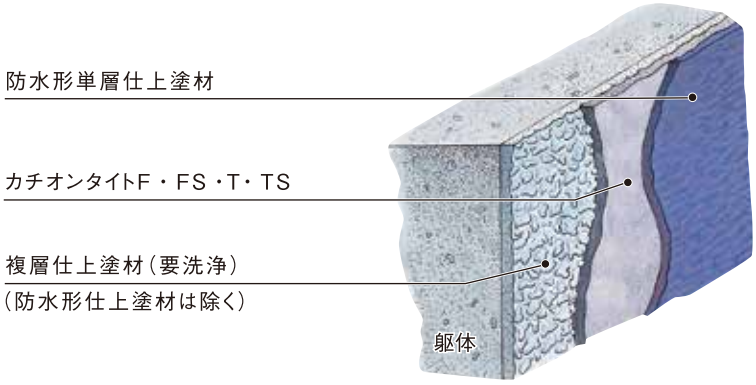
※既存陶・磁器タイルの躯体への付着強さが十分にあるか、調査してから施工してください。

◆複層仕上塗材を防水形複層仕上塗材に。



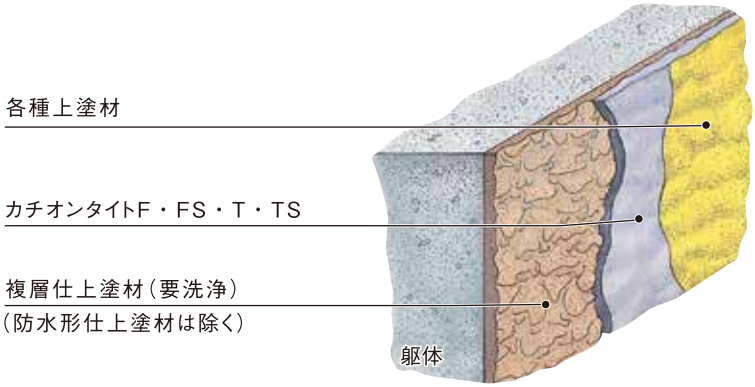
※防水形仕上塗材はケレン剥離してください。各種上塗材の前には吸水止の調整が必要となります。

◆複層仕上塗材を防水形単層仕上塗材に。



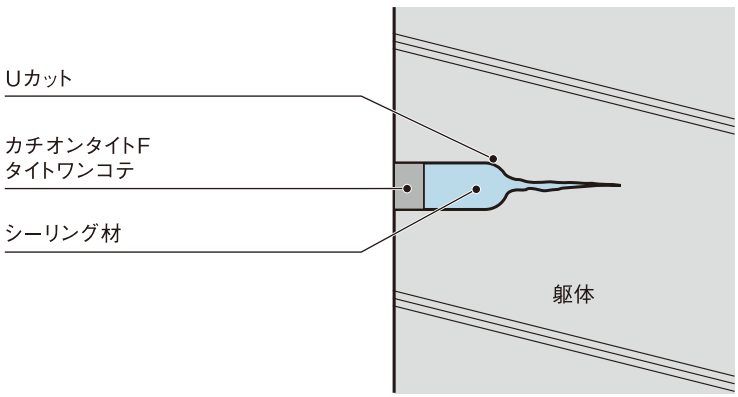
※防水形仕上塗材はケレン剥離してください。各種上塗材の前には吸水止の調整が必要となります。

◆複層仕上塗材を各種上塗材に。



※防水形仕上塗材はケレン剥離してください。各種上塗材の前には吸水止の調整が必要となります。

◆コンクリートのひび割れ補修に。



■各種下地への付着強さ

単位:N/㎟(kgf/㎠)　(自社試験)

下地の種類	カチオンタイトF	カチオンタイトFS	速硬カチオンコテ	タイトワンコテ
コンクリート	1.9(18.9)	2.0(20.0)	2.9(29.7)	1.5(15.5)
陶磁器タイル(施釉面)	1.9(19.4)	1.8(17.9)	3.5(35.6)	1.5(15.5)
アクリル系トップ複層模様仕上げ	1.4(14.0)	1.5(15.5)	1.4(14.3)	1.3(13.4)
ウレタン系トップ複層模様仕上げ	1.5(14.9)	1.6(16.1)	1.6(16.3)	1.1(10.9)
鉄部	1.6(16.5)	1.8(17.9)	2.6(26.7)	1.4(14.0)
大理石	2.0(20.2)	2.1(21.5)	3.6(37.2)	1.3(13.3)
ガラスブロック	1.9(19.4)	1.8(18.3)	1.8(18.4)	1.7(17.0)
スレート	1.8(17.9)	1.9(18.9)	1.5(15.3)	1.4(14.7)
合板	1.0(10.2)	0.9(9.6)	0.9(10.0)	—
押出し成型セメント板	1.5(15.4)	1.6(16.6)	1.6(16.3)	1.2(12.2)
エポキシ樹脂塗床仕上げ	1.9(19.0)	1.8(18.2)	2.8(28.2)	1.3(13.8)
Pタイル接着材 (酢酸ビニール系:50%除去)	1.7(17.0)	1.5(15.0)	2.5(25.4)	1.5(15.3)

■一般性能

JIS A 6916下地調整塗材C−2準拠

試験項目		カチオンタイトF	カチオンタイトFS	速硬カチオンコテ	タイトワンコテ	C−2規定
軟度変化(%)		−3.1	+3.0	+0.8	+9.4	±20以下
耐ひび割れ性		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	ひび割れがないこと
耐衝撃性		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	ひび割れ及び はがれがないこと
付着強さ N/㎟ (kgf/㎠)	標準時	1.9(18.9)	2.0(20.0)	2.9(29.7)	1.5(15.5)	1.0(10.2)以上
	低温時	1.1(11.1)	1.2(12.8)	1.7(17.1)	1.0(10.2)	0.7(7.1)以上
	温冷 繰り返し後 (耐久性)	異常なし 1.2(12.5)	異常なし 1.3(13.4)	異常なし 1.8(16.2)	異常なし 2.0(20.2)	割れ、膨れ及びはがれがなく 付着強さが1.0(10.2)以上 であること
吸水量(g)		0.8	0.9	0.9	0.5	1以下

■各種下地への付着強さ

単位:N/㎟(kgf/㎠)　(自社試験)

下地の種類	カチオンタイトT	カチオンタイトTS	速硬カチオンローラー	カチオンフィラー	タイトワンローラー
コンクリート	1.8(18.0)	2.0(21.0)	1.9(19.8)	1.3(12.9)	1.2(12.1)
アクリル系トップ複層模様仕上げ	1.3(13.3)	1.4(14.8)	2.5(25.6)	1.3(13.7)	1.2(11.9)
ウレタン系トップ複層模様仕上げ	1.4(14.6)	1.5(15.5)	2.3(23.1)	1.2(12.2)	0.9(9.4)
鉄部	1.5(15.6)	1.7(17.5)	2.0(20.5)	—	1.5(15.8)
スレート	1.7(17.2)	1.8(18.5)	2.2(22.5)	0.8(8.0)	1.1(11.0)
合板	0.9(9.6)	0.9(9.2)	0.9(9.5)	—	—
押出し成型セメント板	1.4(14.8)	1.6(16.6)	2.1(21.5)	1.1(10.5)	1.2(12.7)

■一般性能

JIS A 6916下地調整塗材C-1準拠

試験項目		カチオンタイトT	カチオンタイトTS	速硬カチオンローラー	カチオンフィラー	タイトワンローラー	C−1規定
軟度変化(%)		+3.0	+1.8	+7.8	-4.9	−3.8	±20以下
耐ひび割れ性		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	ひび割れがないこと
耐衝撃性		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	ひび割れ及びはがれがないこと
付着強さ N/㎟ (kgf/㎠)	標準時	1.8(18.0)	2.0(21.0)	1.9(19.8)	1.4(14.3)	1.2(12.1)	0.7(7.1)以上
	低温時	1.2(11.8)	1.3(13.2)	2.1(21.8)	1.1(11.7)	0.9(9.3)	0.5(5.1)以上
	温冷繰り返し後(耐久性)	異常なし 1.2(12.7)	異常なし 1.4(13.8)	異常なし 2.0(20.7)	異常なし 1.6(16.2)	異常なし 1.4(14.6)	割れ、膨れ及びはがれがなく付着強さが0.7(7.1)以上であること
吸水量(g)		0.9	1.0	0.2	0.4	0.9	2以下

■一般性能

JIS A 6916 下地調整塗材CM-2準拠

試験項目		YS厚付けモルタル	速硬カチオン厚塗り	CM-2規定	規格値※1
だれ	下がり量(㎜)	0	0	—	5以内
	表面の状態	異常なし	異常なし	—	ひび割れの発生がないこと
軟度変化(%)		+18.0	—	±20以下	—
比重		1.8	2.1	JIS R 5201による	—
付着強さ N/㎟ (kgf/㎠)	標準時	1.8(17.9)	2.7(27.7)	1.0(10.2)以上	0.98以上
	低温時	1.2(12.6)	2.2(22.7)	0.7(7.1)以上	0.49以上
	湿潤時	1.6(16.6)	1.8(18.3)	—	0.78以上
	温冷繰り返し後(耐久性)	1.4(14.2)	1.6(15.9)	1.0(10.2)以上 割れ、膨れ及びはがれがないこと	—
曲げ強さ N/㎟(kgf/㎠)		8.1(82.7)	11.3(115)	5.0(51.0)以上	5.88以上
圧縮強さ N/㎟(kgf/㎠)		27.6(282)	28.3(289)	10.0(102)以上	19.6以上
耐衝撃性		異常なし	異常なし	ひび割れ及びはがれがないこと	—
耐ひび割れ性		異常なし	異常なし	ひび割れがないこと	—
吸水量(g)		0.8	0.3	2以下	—
透水性(g)		ぬれなし、水滴なし	ぬれなし、水滴なし	—	裏面のぬれ、水滴の付着のないこと

※1 建築改修工事管理指針(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)　欠損部充てん用ポリマーセメントモルタルの品質基準(案)に基づく試験

ヤブ原産業株式会社
本　社／〒334-0054　埼玉県川口市安行北谷546
☎ 048(297)4111　Fax 048(290)1198
URL http://www.yabuhara-ind.co.jp/
E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp

Vol.10.3　C10-250610 YS